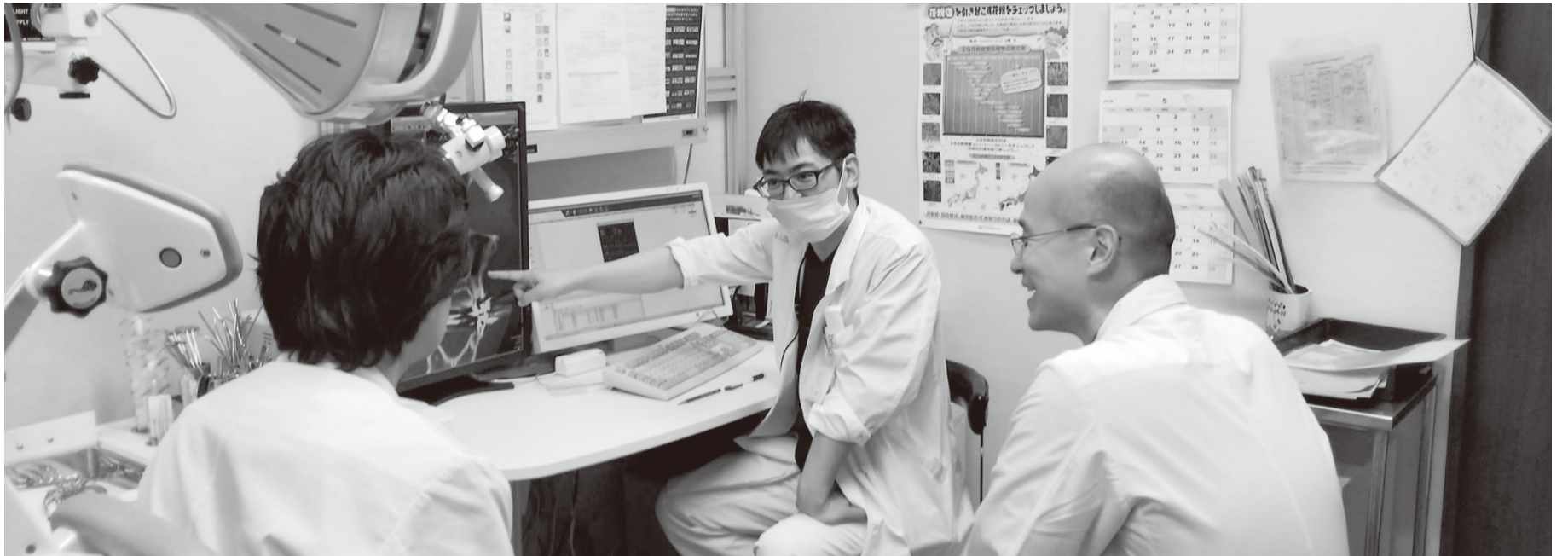


耳鼻咽喉科におけるがん治療について

耳鼻咽喉科 診療科長 野村 文敬



ごあいさつ

2017年4月より耳鼻咽喉科は常勤医師が不在となり、入院や手術治療が中断されたため地域の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。2018年4月より3名の常勤医師が赴任し、入院、手術治療共に再開となりました。

1名が耳鼻咽喉科専門医・指導医および頭頸部がん専門医の資格を持ち、1名が耳鼻咽喉科専門医の資格を持っています。地域のクリニックや病院とも密接に連携をとり、様々な疾患に対する治療を行っております。

耳鼻咽喉科としては草加市内唯一の入院、手術加療が可能な病院として、地域の皆様のお役に立てるよう努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

頭頸部がんの治療方法について

頭頸部がんについて

「頭頸部がん」という言葉はあまり聞かれない方も多いかもかもしれません。頭頸部は鎖骨から上で、眼と脳、脊椎を除くすべての範囲を指します。

この領域に発生する悪性腫瘍のことを「頭頸部がん」と呼び、耳鼻咽喉科が診断、治療を担当します。すべてのがんの中でおよそ5%が頭頸部がんといわれています。

頭頸部がんには様々な種類があり、主なものには舌がんを含む口腔がん（最近では某芸能人が舌がんになり、注目を浴びました）や咽頭がん、喉頭がん、甲状腺がん、鼻・副鼻腔がん、唾液腺（耳下腺や顎下腺など）がんなどがあります。

頭頸部がんの特徴

<口腔がん>

舌、頬や歯肉の粘膜、唇などにしこりができます。初期は口内炎と区別がつかないこともあり、治りが悪い口内炎は注意が必要です。

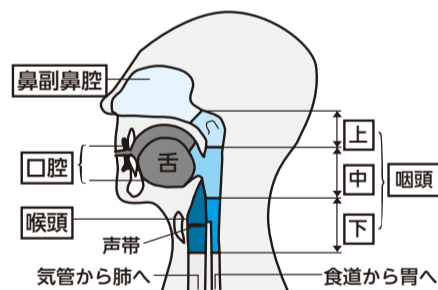
首のリンパ節に転移を起こすことがあり、首のしこりが出てくることもあります。

原因として飲酒・喫煙のほか口腔内の不衛生や合わない入れ歯なども原因と言われています。

<咽頭がん>

鼻の奥の突き当たり部分から食道の入り

頭頸部の各部位



口までを咽頭と呼びます。この部位はさらに上咽頭、中咽頭、下咽頭に分かれ、ここから発生したがんはそれぞれ上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がんと呼ばれます。

上咽頭がんの症状は、鼻のつまり感や繰り返す鼻血、片側の難聴などがあり、首のリンパ節に転移を起こせば首のしこりが出現します。

中咽頭・下咽頭がんの症状はのどの痛みや声のかすれ、食事摂取時の違和感や、首のリンパ節に転移を起こしやすいため首のしこりが症状となります。

咽頭がんの原因はやはり飲酒・喫煙が多く、上咽頭や中咽頭がんの一部は特殊なウイルス感染が原因と言われています。

<喉頭がん>

声帯を含めた声を出すための部分を喉頭と呼びます。症状としては声のかすれが最も多く、その他血痰やのどの痛みなどがあります。

やはり首のリンパ節に転移を起こすことがあり、首のしこりが出てくることもあります。喉頭は息をするところでもあるため、進行した場合は窒息してしまう危険性があります。喉頭がんの原因として最も多いのは喫煙と飲酒です。

<甲状腺がん>

甲状腺はのどぼとけの少し下にある蝶のような形をした臓器で、甲状腺ホルモンと呼ばれるホルモンを作り、体内の代謝に関して重要な役割を担っています。

甲状腺がんの症状は首のしこりもとても多く、進行すると声がかすれる症状が出てくることもあります。甲状腺がんの原因はまだはっきりしておらず、適切な予防方法はないのが現状です。甲状腺がんのごく一部には遺伝子や放射線の関与が判明しているものもあります。

頭頸部がんの治療

頭頸部領域は呼吸をしたり声を出したり、食事を飲み込んだり、においをかいだり、さらには音を聞いたりと生活する上でとても重要な機能が集中している場所です。

したがって頭頸部に発生したがんに対する治療はその機能を喪失する可能性もあるため治療方法の選択はとても重要です。

進行度や根治の確率などで抗がん剤治療や放射線治療、手術治療などを選択することになるケースが多いですが、当院

には経験豊富な頭頸部がん専門医が在籍しており、正確な診断を確定させた後、様々な治療についてご提案し、患者さんやご家族とよく相談をした上で治療にあっております。耳鼻咽喉科以外にも放射線科、歯科口腔外科、緩和ケア科、消化器内科や外科などと密に連携を取り診療にあっております。

当院での治療が困難と判断された患者さんには大学病院やがんセンターなどへご紹介することもあります。

頭頸部がんに限らず、すべてのがんに言えることですが早期発見、早期治療が最も大切です。長引くのどの痛みや声のかすれ、首のしこりなどがある場合はまずは耳鼻咽喉科に受診することをお勧めします。地域の皆様に少しでもお役に立てるよう、草加市立病院全体でone teamとして努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

